

■■■ 元気なうちに整える ■■■

ゆるい しゅうかつしんぶん 終活新聞

2021年(令和3年)5月

第19号

終活は人生を終わることへの準備だけではなく、人生をよりよく生きること。生活の中で知っておくとお得な情報をわかりやすくお届けします！

お金の情報は自分で落とし込む！ 老後2000万円問題？平均貯蓄額？マネーリテラシーをつけましょう

よりよい老後を暮らすにはお金が必要です。以前「老後2000万円問題」が話題となりましたが、個人的に日本が危機感をもっているあらわれだと思っています。この問題から若い人も将来のこと、資産運用などを積極的に考えるようになったと聞きます。どうやって2000万円という数字が出てきたのでしょうか？以下のように計算されたと考えられています。

夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦世帯では、月々約5.5万円が赤字と言われます。

仮に老後が30年あるとした場合…

月々の赤字5.5万円×12ヵ月×30年＝1980万円(約2000万円)

参考資料)金融庁:金融審議会「市場ワーキング・グループ」(第21回)議事



それぞれの家庭状況が違うため、実際のところ2000万円必要か、わかりません。50代以上の人は現制度で暮らしていけるかもしれませんが、今の若い世代が、今の老後の暮らし方をすることはかなり厳しいと言われています。そのためにも、計画的に人生設計をし、お金の知識(マネーリテラシー)をつけておかなければなりません。わたしは義務教育でお金について勉強することが大事だと強く思っています。知識を持つことで情報にとらわれず、自分の位置を把握でき、自分の人生プランを歩むことができます。終身雇用もゆらぎ、定年がきて老後がきた、悠々自適の年金生活という時代は終わったのです。そして、少子化など社会的変化がある中で、老後の期間は長くなっています。

「平均値」でなく「中央値」でとらえよう

平均値ってなんだか高い？

■金融広報中央委員会が実施した世代別の貯蓄額2019年(令和元年)

	金融資産保有世帯		金融資産を保有していない世帯を含む	
	平均値	中央値	平均値	中央値
20歳代	220万円	165万円	165万円	71万円
30歳代	640万円	355万円	529万円	240万円
40歳代	880万円	550万円	694万円	365万円
50歳代	1574万円	1000万円	1194万円	600万円
60歳代	2203万円	1200万円	1635万円	650万円
70歳代	1978万円	1100万円	1314万円	460万円

「金融資産」とは、運用のためや将来に備えて蓄えている部分

総務省2019年(令和元年)調査報告(貯蓄・負債編)2人以上世帯のうち勤労者世帯では、平均値が「1376万円」、中央値「751万円」でした。平均値が中央値よりかなり高くなっています。なぜでしょうか？

■平均値とは、全てを足して頭数で割ります。例えば、10人いたとして、貯蓄額が0円の人が9人、100万円の人が1人いるとすると、 $0+0+0+0+0+0+0+0+0+100$ 万円を10人で割ると、10万円ということです。9人は貯蓄額0円なのに、平均10万円。

■中央値とは、値を小さい順か大きい順に並べた時に真ん中にくる値。前例の場合だと、5人目6人目の数値0円が中央値ということです。

平均値は一部の極端に大きな値に左右されるため、どうしても値が大きくなりがちです。資産の二極化が広がっている日本、こういう知識も持つておくとういでしょう。

今号を読まれて、もし若い世代とかかわることがあるなら、危うい日本の状態、そしてマネーリテラシー・お金の知識が必要だとお伝えください。そして情報を正確に受け止める力をつけ、自分たちができることをする。楽しく快適な老後を送るにはお金が必要です。これは恥ずかしいことでもなく、本当のこと。介護保険は基本1割負担と言われますが、その隙間をうめる部分はお金がないと厳しいことは意外と多いです。介護保険料から、年金や税金は一生ひかれていけます。今の若い世代が年金を受けとれない、貯蓄がない場合どうなるのでしょうか？お金は「自助努力」が必要です。よりよい人生を生きるために、マネリテを！



「終活ノオト」
公式LINE